

令和3年3月15日

2015年1月1日から2019年12月31日の期間中に
当院で【異型輸血もしくは院内輸血(生血)】を受けられた患者様へ

研究
「徳之島輸血医療の現状」について

- 1, 対象となる患者様について2015年1月1日から2019年12月31日の期間中に当院で治療を受けた患者様のうち、以下の条件に当てはまる方が対象となります。

診断名(病名): 出血性ショック(しゅっけつせいしょく)

出血性胃潰瘍(しゅっけつせいいかいよう)

出血性十二指腸潰瘍(しゅっけつせいじゅうにしちょうかいよう)

食道静脈瘤破裂(しょくどうじょうみゃくりゅうはれつ)

- 2, 研究概要および利用目的について

この研究では、上記診断がついた患者様の、性別、診断時の年齢、血液型、輸血量をあなたの診療録から抽出し、徳之島輸血医療の現状について第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会(2021年6月4日から6日、於:京王プラザホテル新宿)で学会発表を行うとともに、論文の投稿を行います。この研究は徳之島徳洲会病院の倫理委員会で審議され承認を得ております。

- 3, 研究機関および研究責任者について

<研究機関> 徳之島徳洲会病院

<研究責任者> 伊仙クリニック 院長 水田 博之

- 4, 使用する情報(データ)

患者様の診療録から以下のデータを収集させていただきます。

・患者背景: 性別、診断時の年齢

・病状経過: 輸血に至った経緯、治療経過と予後

・検査の結果: 輸血前後での血液検査データ(血液型、Hb等)、輸血した血液の型と量

- 5, 研究終了時のデータの保存および廃棄について

この研究に使用させていただいた患者様のデータなど、この研究のために作成した

資料は、研究終了から5年間、当院に保存いたします。

なおデータを廃棄する際には、患者様の個人を特定できない状態にします。

6, 個人情報の保護および研究成果の公表について

患者様の診療録から収集させていただいたデータは、患者様個人を特定できる情報（個人情報）は匿名化した上で、この研究に用いさせていただきます。

またこの研究の成果は学術目的のため、日本輸血・細胞治療学会誌に論文として投稿し、掲載許可が得られた場合、学会誌に公表される予定です。その場合にも、患者様の個人情報は匿名化されておりますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

7, 個人情報の開示について

この研究の方法に関する資料につきましては、他の患者様の個人情報および知的財産権の保護に支障のない範囲内で、ご覧いただくことは可能です。ご希望の場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

またこの研究のために収集させていただいた患者様の個人情報につきましても、ご本人、ご家族、ご親族等がご希望される場合には、開示させていただきます。

（ただし相応の理由がある場合には、その理由をご説明、ご理解いただき開示できない場合が生ずることもあります。）

個人情報の開示をご希望される場合にも、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

8, 研究へのデータ使用の取りやめ（不参加）について

この研究にデータを使用されることについて、取り止めをご希望される場合には、データ収集の終了予定である令和3年4月14日までに、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。なお、取り止めをご希望された場合にも診療上の不利益を受けることはありません。

9, 【問い合わせ窓口】

氏名： 水田 博之（伊仙クリニック 院長）

電話番号：0997-86-3030（代）

氏名： 藤田 安彦（徳之島徳洲会病院 院長）

電話番号：0997-83-1100（代）